

バルク供給システム

バルク供給は、製鉄所や工場など、比較的大量にLPガスを消費する事業者向けの供給方式として用いられてきましたが、1997年（平成9年）の法改正で、一般家庭を含む小口の消費者に対する供給手段としても利用できるようになりました。特に小口向けのもは、従来のものと区別するため「新バルク供給システム」と呼ばれることもあります。

●バルク供給とは？

新バルク供給システムは、従来の容器交換方式に代わるもので、一般住宅、集合住宅、業務用住宅などに設置されたバルク貯槽に、バルクローリで直接LPガスを充填する供給方式です。一度に大量のLPガスを輸送することによって、より安定した供給を実現することはもちろん、配送の合理化、保安の高度化、美観の向上など多くのメリットがあります。

●バルク貯槽

貯槽には主に地下式と地上式の2種類があります。また、容量・形状は多くのバリエーションがあるので、設置場所の状況に応じて最適なものを選択できるようになっています。LPガスの使用量の計測は、消費先に設置されたガスメーターでカウントされた数量をもとに計算す

る場合と、バルクローリに設置された充填質量計により計算する場合とがあります。この供給システムは、物流の合理化に寄与する未来型供給形態として、今後ますます普及していくものと期待されています。



バルクローリとバルク貯槽（たて型）

■バルク供給システム



バルク貯槽（よこ型）

